

拒絶理由通知書

特許出願の番号	特願2003-586704
起案日	平成21年 2月 6日
特許庁審査官	山本 雅士 3786 5L00
特許出願人代理人	特許業務法人明成国際特許事務所 様
適用条文	第29条第2項

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものです。これについて意見がありましたら、この通知書の発送の日から3か月以内に意見書を提出してください。

理 由

A. この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前に日本国内又は外国において、頒布された下記の記事に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

- ・請求項: 1～40
- ・引用文献等: 1～9
- ・備考:

引用文献1(特に、段落番号の【0018】、【0020】、【0081】の記載参照)には、口座の所有者が携帯端末を利用して、IDとパスワードをインターネット経由で銀行など決済事業者の決済サーバに送信して、該決済サーバにてIDとパスワードにより認証することが記載されている。

また、引用文献2(特に、段落番号の【0001】、【0049】の記載参照)には、携帯端末(本願のモバイルデバイスに対応する)とサーバ間の接続方法に関して、クライアントがサーバに対して圧縮された認証要求を送信することが記載されており、引用文献3(特に、段落番号の【0012】の記載参照)には、認証情報として質問に対する返事が含まれることが記載されている。

さらに、引用文献4(特に、段落番号の【0064】、【0065】の記載参照)には、携帯機器から口座番号を金融機関のコンピュータに送信し、金融機関のコンピュータは、口座番号をコンピュータ上のデータと比較することが記載さ

れている。

また、引用文献5（特に、段落番号の【0007】、【0048】の記載参照）には、証明書を結合したデジタル文書に対してハッシュ関数を適用して得られた圧縮文書にデジタル署名を行うこと、デジタル署名を検証することが記載されており、引用文献6（特に、段落番号の【0013】～【0022】の記載参照）には、電話番号のハッシュ値を取得することが記載されている。

さらに、引用文献7（特に、段落番号の【0008】の記載参照）には、WAPクライアントとWAPプロキシの間で認証を転送すること、通信プロトコルとして、SMSやUSSDを利用することが記載されている。

また、引用文献8（特に、段落番号の【0043】～【0044】、【0048】～【0049】の記載参照）には、ダイヤル操作でユーザ認証した後に、音声処理を行うこと、HTML文書内の情報がエレメントとタグから構成されることが記載されている。

さらに、引用文献9（特に、段落番号の【0017】、【0021】～【0024】の記載参照）には、第1のネットワークが音声信号で、第2のネットワークがデジタルパケット信号データ（本願のテキストデータに対応する）であること、デジタルパケットデータネットワークを通しての通信を認証するために、音声ネットワークの認証手続を利用することが記載されている。

そして、引用文献1～9は、認証などの通信に係る処理を共通としていることから、引用文献1～9を組み合わせ、本願発明の構成とすることは、当業者が容易に想到し得たことと認められる。

引用文献等一覧

1. 特開2001-344550号公報
2. 特開2001-313979号公報
3. 特開2001-291032号公報
4. 特開2000-184085号公報
5. 特開2001-142398号公報
6. 特開平11-143780号公報
7. 特開2000-236353号公報
8. 特開2002-91473号公報
9. 特開平10-313488号公報

拒絶の理由が新たに発見された場合には拒絶の理由が通知される。

- ・調査した分野 I P C G 0 6 Q 1 0 / 0 0 - 5 0 / 0 0
先行技術文献

この先行技術文献調査結果記録は、拒絶理由を構成するものではない。